

2009-4

学会通信

平成 21 年 4 月 18 日

NO.65

工業経営研究学会

Association for the Study of  
Industrial Management (Japan)

## 第 24 回 全国大会のお知らせ

### 【主催校挨拶】

今年の全国大会は、北海道札幌近郊にあります道都大学において開催いたします。

統一論題は、『「価値」・「生産」の激変期に 改めて工業経営研究の機軸を探る』となりました。貫隆夫新会長のご方針「時代に応え時代と闘う工業経営研究にむけて」に沿って、そのスタートの年の全国大会において上記の統一論題について議論いただくことの意義は大きいと考えます。

昨年 9 月の米大手証券会社の破綻をきっかけに金融危機は地球規模で広がり、瞬く間に実体経済にも影響が及び今まさに世界経済は危機のさなかにあります。景気循環に生じる一時的な調整でなく、従来認められてきた価値そのものの変化であり、経済システムの内側に生じた消費者の嗜好の変化、生産要素の量(または質)の変化、そして商品供給方法の変化と捉えることが必要です。

かつての英国は新興国の追い上げから工業退化を招き、覇権の座を米国に明け渡したと考えられます。米国は、第二次世界大戦後のリーダーシップと引き換えに、復興を援助した国々の中でも戦前の基盤をもとにした工業国の追い上げに対し、世界中に多国籍企業を放つに至ったという見方ができます。また資源及び環境問題など価値の変化を論じる機会が多いが、実は本質的な変化として、世界経済を揺さぶり攪乱しているのは周知の BRICs に代表される発展し続ける国や地域の存在であり変化の根源をなすと考えられます。

米国をスタンダードとするグローバリズムから多極化し、再び工業経営の世界地図が描き変えられようとしている局面において、本学会が、改めて研究の機軸を探り、その研究成果によって世界経済の発展に貢献することが期待されているのではないのでしょうか。

幸い、この時期の北海道は大変爽やか季節となります。大会準備委員一同、会員の皆様に充実した時間をお過ごしいただけますように、鋭意準備を進めて参りますので、多数の会員が本大会にご参加賜りますようお願い申し上げます。

第 24 回全国大会準備委員会委員長 山本 孝 (道都大学)

## 第 24 回 大会プログラム概要

統一論題 : 「価値」・「生産」の激変期に 改めて工業経営研究の機軸を探る

9 月 7 日(月) (1) トヨタ自動車北海道工場見学(14:00~15:30)

[注] 主力製品・・・小型車用 AT(自動変速機)・CVT(無段変速機)

(2) 理事会(17:30~)

9 月 8 日(火) (1) 自由論題報告(9:30~12:30)

(2) 特別記念講演(13:00~16:00)

テーマ: 「グローバルに雄飛し、地域から拓く自動車産業」

① 「ダイナックスの挑戦

—北海道に根づいて 30 有余年 これまでとこれから—

株式会社 ダイナックス 代表取締役 足立 憲三 氏

〔注〕主力製品・・・AT用クラッチ板(世界シェア約40%)

②「時代が求めるクルマづくりと、トヨタ自動車北海道の取り組み」

トヨタ自動車北海道株式会社 取締役社長 田中 義克 氏 (予定)

(3) 会員総会(16:10～17:40)

(4) 懇親会 (18:00～19:30)

開催場所：札幌北広島クラッセホテル(道都大学の近く)

9月9日(水) (1) 自由論題報告(9:30～11:30)

(2) 研究分科会 (11:40～12:20)

(3) 統一論題報告およびシンポジウム (13:00～16:30)

## 第24回 全国大会報告者募集

統一論題と自由論題の報告者を募集します。

(1) 報告応募の締め切りは、**5月31日(日)**です。応募者多数の場合には大会準備委員会で選考させていただきます。ご了承をお願い致します。

応募内容 (原則として下記応募先にメールでのご送付をお願い申し上げます)

① 報告タイトル

② 報告者氏名・所属

\* 共同報告の場合はファーストオーサーを筆頭に、報告者すべての氏名・所属を明記のこと

③ 報告要旨 (400字程度、キーワード5つ、書式自由)

(2) 大会予稿集原稿の締め切り 7月31日(金) 必着

報告者には、報告依頼書類とともに原稿の書式等を6月上旬にお知らせします。予稿集は送付原稿を直接印刷しますので、書式の厳守をお願い致します。

応募先 道都大学 経営学部 経営学科

〒061-1196 北海道札幌市中の沢149番地

Tel (011)372-3111 (代表)

田中 <sup>もとむ</sup>求 [mtanaka@dohto.ac.jp](mailto:mtanaka@dohto.ac.jp)

### (宿泊先紹介)

懇親会は、道都大学近くの北広島クラッセホテルを予約しております。

宿泊の予約も学会参加者に限り、お一人1泊6,000円(朝食付)となっておりますのでご利用ください。天然温泉露天風呂、ゴルフ場の併設もごございます。

問い合わせは、直接お電話またはファクスにてお願い申し上げます。

北広島クラッセホテル (<http://kitahiroshima.classe-hotel.com/>)

〒061-1101 北海道北広島市中の沢316-1

Tel (011)373-3800 Fax(011)373-3814

学会担当：副支配人 三浦<sup>まい</sup>麻衣

# 第1回理事会報告

去る3月27日(金)、第8期(2009年1月1日~2011年12月31日)役員による第1回理事会が、明治大学駿河台校舎研究棟4階会議室において開催され、以下の各項目が承認されました。

## (1) 新入・退会会員の承認

### 【新入会員】 (3名)

- ・井上 尚之 (神戸山手大学) : 正会員
- ・横井 克典 (同志社大学大学院) : 院生会員
- ・飯田 憲一 (北海道立工業試験場) : 正会員

### 【退会会員】 (9名)

- ・新谷 司 (日本福祉大学)
- ・佐々木浩二 (東京都立大学経済学部 特別研究生)
- ・近沢 孝昌 (近畿大学理工学部経営工学科)
- ・中山 文夫 ((株)ノーリツ)
- ・長谷川 博 (千葉商科大学)
- ・亀森 和博 (日本政策投資銀行)
- ・三瓶 正明 (千葉県八街市役所)
- ・小林 昭南 (関西大学大学院工学部管理工学科)
- ・椎名 宏 ((株)ワイ・アール・シー)

## (2) 今期の目標について

会長方針: 「時代に応え、時代と闘う工業経営研究を目指して」  
上記基本方針に基づき、次のような具体的な方針が決定された。

- ① 部会活動の活性化
- ② 若手研究者の育成と会員拡大
- ③ ホームページの充実 (更新頻度・内容の点検)

## (3) 新理事会の役割分担

【会 長】 貫 隆夫 (大東文化大学)   【副会長】 地代憲弘 (追手門大学)  
風間信隆 (明治大学)

### 【理 事】 (\*印は会長指名理事)

井上秀次郎 (愛知東邦大学)	表 秀孝* (長野大学)
黒沢 敏明* (摂南大学)	小泉 國茂 (小泉経営工学研究所)
坂本 清 (宝塚造形芸術大学)	鈴木 良始* (同志社大学)
那須野公人 (作新学院大学)	野村 重信 (愛知工業大学)
百田 義治 (駒澤大学)	平松 茂美 (高千穂大学)
山本 孝* (道都大学)	劉 仁傑* (台湾・東海大学)

### 【監 事】

学会監事 羽石 寛寿 (摂南大学)   会計監事 山口 善昭 (東京富士大学)

<各種委員会委員>

【学会誌編集委員会】

委員長 小泉國茂（小泉経営工学研究所） 担当理事 那須野公人（作新学院大学）

【論文審査運営委員会】

委員長 百田義治（駒澤大学） 担当理事 鈴木良始（同志社大学）

【学会賞・研究奨励賞選考委員会】

委員長 表 秀孝（長野大学） 担当理事 劉 仁傑（台湾・東海大学）

<各種業務担当委員>

【規定改定・学会活動記録編集】

委員長 地代憲弘（追手門大学） 担当理事 黒沢敏明（摂南大学）

【産学交流・法人会員拡大】

委員長 山本 孝（道都大学） 担当理事 平松茂美（高千穂大学）

【学会ホームページ・関連学会調査】

委員長 井上秀次郎（愛知東邦大学） 担当理事 劉 仁傑（台湾・東海大学）  
委 員 羽石寛志（佐賀大学）

【20周年記念出版事業】

委員長 野村重信（愛知工業大学） 担当理事 貫 隆夫（大東文化大学）  
地代憲弘（追手門大学）  
風間信隆（明治大学）

【部会長】

北海道部会 山本 孝（道都大学） 東日本部会 鈴木幸毅（東京富士大学）  
中部部会 野村重信（愛知工業大学） 西日本部会 黒沢敏明（摂南大学）

【経営関連学会協議会評議員】

貫 隆夫（大東文化大学） 風間信隆（明治大学）

【学会事務局】

委員長 風間信隆（明治大学）  
担当理事 那須野公人（作新学院大学）〈学会通信の作成・送付・理事会議事録〉  
坂本 清（宝塚造形芸術大学）  
学会幹事 西 剛広（明治大学） 清水一之（明治大学） 島内高太（三重短期大学）

他に学会活動活性化もしくは事務局体制の充実・強化を図るため幹事を数名選任するものとする（今後、部会長・委員長に人選は一任する）。

(3) 2008 年度決算承認

2008 年度決算は、前事務局の関根会員の下で取りまとめ、前理事会で承認を得たのち、2009 年 9 月の全国大会・会員総会で審議・承認を受けるものとする。

(4) 2009 年度予算 1 次補正

（2009 年度新方針に基づく 1 次補正としての予算組み替え）

具体的には、学会名簿の作成（2009 年夏発送予定）、学協会サポートセンターとの請負業務契約の再点検等にとまなうものである。

2009年度 工業経営研究学会予算（1次補正）（1月1日～12月31日）（単位：円）

収入の部	予算額	備 考
会費収入	1,757,380	※1
著作権収入	20,000	
利息収入	4,000	
雑収入	30,000	※2
その他の収入	0	
小計	1,811,380	
前期繰越金	2,914,338	
計	4,725,718	

支出の部	予算額	備 考
学会事務委託費	570,000	学協会サポートセンター
全国大会補助費	250,000	
地方部会補助費	67,200	
分科会補助費	10,000	
理事会費	70,000	(当初予算 50,000)
各種委員会業務費	60,000	
学会誌発行費	700,000	第23巻
名簿作成・郵送費	100,000	(新たに追加)
郵便通信費	5,000	
事務局費	50,000	(当初予算 30,000)
振込費（銀行振込手数料）	7,000	
印刷費	3,000	
特別事業積立金	150,000	合計：1,650,000円
経営関連学会協議会年会費	30,000	
予備費	30,000	
小計	2,102,200	(当初予算 1,962,200円)
次期繰越金	2,623,518	(当初予算 2,763,518円)
計	4,725,718	

※1 会費納入者数は、実際の会員数×0.85（小数点切り捨て）

正会員：242×0.85=205 院生会員：43×0.85=36 法人会員：0

会費収入=年会費の合計－郵便振替払込料－学協会SCの振込手数料

※2 雑収入：学会誌執筆超過分実費（第22巻）

### (5) 2010年度予算方針

次の方針案が承認された

- ① 学協会サポートセンター業務契約の見直しによる経費削減
- ② 委託手数料と郵送費（学会通信印刷・発送費＋封筒代＋年報発送費）の費目の分離  
委託手数料の内訳：会員管理基本料12万円  
＋会費徴収（@300円×会員数＋2万円）＋諸雑費
- ③ 各種予算費目の見直し
- ④ 特別事業積立金の特別会計化（本予算からの独立）

⑤ 次期繰越金の見直し

なお事務局より、事務局による学会通信の印刷・発送を検討したいとの意見が出された。

(6) 20周年記念刊行計画について

野村理事より、グローバリゼーションと環境の2冊が、9月に刊行される予定であり、原稿締め切りは3月31日となっている。また、人間・技術・情報研究分科会も、徐々に準備を進めているところであるとの説明があった。

## 「学会賞・研究奨励賞」候補推薦についてのお願い

学会賞・研究奨励賞選考委員会  
委員長 表 秀 孝

2009年度の学会賞・研究奨励賞について、**2009年6月19日（金）**までに学会賞・研究奨励賞候補作品の募集を行い、その後対象作品について選考委員会で選考を行いたいと考えております。つきましては、学会賞・研究奨励賞候補作品を会員の皆様にご推薦（自薦を含む）頂きますようお願い申し上げます。

なお、学会賞及び研究奨励賞について、工業経営研究会内規は以下のように定めています。

1) 学会賞

対象者： 全会員

候補作品：① 本会学会誌及び他誌掲載の会員単独又は会員共同論文、会員単著、及び会員編著（但し、執筆者の過半数が会員であること）

② 候補作品の発表時期の期限は受賞年から数えて過去4年以内とする。

受賞者数： 2名以内

受賞制限： 受賞者は4年を越えなければ再受賞できない。

2) 研究奨励賞

対象者： 10月1日現在、満39歳までの会員

候補作品： 特定した課題について過去の一連の業績とし、かつその中に本学会発表論文を含むもの。

受賞者数： 2名以内

受賞制限： 受賞者は3年を越えなければ再受賞できない。

学会賞及び研究奨励賞のご推薦・ご応募は、選考委員会委員長 表秀孝宛に対象作品を添えてお送り下さいますようお願い申し上げます。会員の皆様のご協力・ご支援を心からお願い申し上げます。

## 西 日 本 部 会

西日本部会長 黒沢 敏朗

### 【活動報告】

西日本部会では、今年度第1回の研究会と見学会を佐賀大学羽石寛志先生のお世話で実施いたしました。

3月13日（金）には、副島硝子工業株式会社（肥前ビードロ：佐賀市重要無形文化財）と鍋島段通（有限会社吉島敷物）の2社を見学、鍋島藩の先進性と伝統工芸保存について学びました。

3月14日(土)には、佐賀大学経済学部を会場に、

1. 「キャリア支援教育の実践と効果」  
羽石寛寿氏(摂南大学)、安久典宏氏(教育エンジニアリング研究所)  
西岡久充氏(和光大学)、高尾明照氏(帝塚山大学)
2. 「大量調理施設における衛生管理の原価計算～第二報～」  
樽井雅彦氏(滋賀大学大学院)
3. 「小集団活動におけるリーダーシップの役割知覚について」  
泉井力氏(関西大学)

の3件の研究報告がありました。

### 【今年度活動計画】

今年度の今後の計画といたしまして、第2回西日本部会研究会を6月もしくは7月に、第3回を12月に予定いたしております。報告ご希望の方は、下記西日本部会事務局宛お申し込みください。

なお、今後は、年間3回の研究会(2月もしくは3月、6月もしくは7月、12月)を定例化して開催いたしたいと予定いたしております。

また、そのうち1回は見学会も兼ねて開催したいと考えております。開催場所は京阪神を予定いたしておりますが、今回の佐賀大学のようにお手配をお願いできれば中国地方や九州、四国などでの開催を歓迎いたしますので、どうかご提案ください。

<西日本部会事務局>

〒533-0007 大阪市東淀川区相川3丁目10番62号

大阪成蹊大学 現代経営情報学部

岡田 好史

[Tel: 06-6829-2606](tel:06-6829-2606)

Email: [info@kogyo.seikei-okada.com](mailto:info@kogyo.seikei-okada.com)

## 環境研究分科会・循環型社会研究分科会

### 【合同研究会 活動報告】

環境研究分科会と循環型社会研究分科会の共催による合同研究会を2009年3月1日に開催しました。

1. 日 時：2009年3月1日(日) 午前10時～午後5時まで
2. 場 所：宝塚造形芸術大学 大阪梅田キャンパス 702教室
3. 報告内容と報告者：

「地球史から見た生物の生存と環境」石坂誠一氏

「経済、社会の発展と地球環境問題」澤田鉄平氏

「循環型社会の理念と技術」貫 隆夫氏

「循環統合型生産システムの模索」坂本 清氏

「循環型社会実現の基本原則」浅野宗克氏

「温暖化防止と国際運動の展開」畑中 稔氏

「資源問題と国際資源循環」小泉國茂氏

「循環型社会と企業の社会的責任、LCAを踏まえた企業活動へ」鹿島 啓氏

「循環型社会と地域社会改革－住民運動－」金子 豪氏

「循環型社会と住民意識と期待」井上雅由氏

「リサイクル問題の意義と本質」今井 經恭氏

「アスベスト問題に見る環境問題の実態」井上尚之氏

「循環型工業経営実現に向けての企業の取り組み」長澤忠彦氏

「循環型社会実現に向けての企業の取り組み－CSR 活動及び報告書に見る－」仲谷修次氏

## グローバルゼーション研究分科会

### <今年度の海外企業視察予定>

当初極東ロシアを考えておりましたが、世界同時不況の影響もあって、見るべき企業がほとんどないことから、現在次のように考えております。

- (1) 訪 問 国：中国（重慶周辺）
- (2) 訪 問 時 期：8月末1週間程度を予定
- (3) そ の 他：現在具体的な訪問先企業を検討中です。

詳細が決まり次第、改めてお知らせいたします。

## 名簿作成アンケートご協力をお願い

工業経営研究学会 事務局

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、理事会において、2009年度に工業経営研究学会名簿を作成することが決定されました。そこで個人情報保護の観点から会員の皆様にアンケートを行い、名簿の記載事項についてご承諾を頂くことになりました。ご多忙のところ、恐縮ですが、何卒ご協力のほどお願い申し上げます。

現在、学会に登録してある皆様の情報を別紙に同封してございます。登録情報をご確認の上、情報に訂正のある方、あるいは名簿への非掲載を希望される方は、学協会サポートセンター内工業経営研究学会担当係（下記）まで、ファックス・メールにてご連絡をお願い申し上げます。

**5月29日（金）までに学協会サポートセンターへご連絡ください。**

なお、締切日までにご返答頂けない場合には、現在、学協会サポートセンター内に登録されてある会員情報を名簿にそのまま記載させて頂きまますので、ご了承下さい。

**【連絡先】 学協会サポートセンター内工業経営研究学会担当係**

〒231-0023 横浜市中区山下町 194-502

FAX： 045-671-1935

E-mail： [scs@gakkyokai.jp](mailto:scs@gakkyokai.jp)

工業経営研究学会 学会通信 65号 (09-4) 2009.4.18

発行人 貫 隆夫 編集担当 那須野公人

学会事務局 明治大学 商学部 風間信隆

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1

明治大学駿河台研究棟 839号室

E-Mail [nobutaka@kisc.meiji.ac.jp](mailto:nobutaka@kisc.meiji.ac.jp)

ホームページ <http://wwwsoc.nii.ac.jp/asimj/index.html>